

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名 **新**子ども相談センターにおけるICT機器導入支援 事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111(内 2636)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000千円（前年度予算額：0千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、児童虐待の対応に当たり、これまで対面で実施していた相談支援や、関係機関との連絡調整等の業務について、ICT機器の活用等により、新たな相談支援体制の構築を進める。

(2) 事業内容

○ ICT機器の活用促進

- ・相談対応や状況確認を行う際にICT機器によるビデオ通話を活用するため、現在所有の公用携帯をスマートフォンへ切り替え。
- ・関係機関との連絡調整や支援内容の協議等を行う際に必要なタブレット端末の整備。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2 県 1/2

(4) 類似事業の有無：無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	5,000	子ども相談センターにおける業務のICT化 5,000 (5子ども相談センター×1,000千円)
合計	5,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・ 児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、児童虐待の対応に当たり、これまで対面で実施していた相談支援や、関係機関との連絡調整等の業務について、ICT機器の活用等により、新たな相談支援体制の構築を進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

ICT機器を導入・活用することで、従来の体制から新たな相談支援の仕組みを構築することから、数値的な指標を設けることが困難。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、従来の対面での相談支援等について、新たな対応が求められている。一方、児童虐待等の相談対応は継続する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	—
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	○ 適正な児童虐待相談業務が維持できる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、従来の対面での相談支援等について、新たな対応が求められている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 従来の対面方法に加え、ICT機器の活用により、児童虐待対応相談を円滑に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	